

## 豊島区の部活動改革の現状及び今後について

### 1. 部活動改革について

少子化に伴う子どもたちの活動の場の確保と教員の負担軽減実現のために、国は「地域連携」と「地域展開」の両輪での部活動改革を推進している。地域連携とは、学校管理下で行われる部活動に部活動指導員などの外部人材を導入すること、地域展開とは、部活動の実施主体を学校から地域の様々な団体等に変えていくこと（地域クラブ化）を指す。現状、令和13年度までの休日部活動の原則地域クラブ化と、平日部活動の各種課題解決と更なる改革推進が目標とされている。

### 2. 豊島区のこれまでの取組み

#### (1)部活動外部指導者の派遣(地域連携)

平成17年度より開始。部活動外部指導者とは、部活動顧問の補佐として、生徒に技術的な指導を行う有償ボランティアを指す。令和7年度には全中学校に約50名の部活動外部指導者を派遣している。

#### (2)部活動指導員の配置(地域連携)

令和2年度より開始。部活動指導員とは、単独で部活動顧問となることが認められる学校職員であり、豊島区では会計年度任用職員として雇用されている。令和7年度には3名が、巣鴨北中学校(バレーボール部)、千川中学校(バスケットボール部)、千登世橋中学校(バスケットボール部)に配置されている。

#### (3)としま地域クラブの運営(地域展開)

令和5年度より開始。部活動地域展開の実証事業として、中学校生徒からの需要が高い種目のうち、既存の部活動にない種目を、としま地域クラブとして運営を行っている。

| 年度    | 休日実施 |    |         | 平日実施    | 参加人数 |
|-------|------|----|---------|---------|------|
| 令和5年度 | ダンス  | 合唱 | プログラミング | －       | 39名  |
| 令和6年度 | ダンス  | 合唱 | プログラミング | マルチスポーツ | 62名  |
| 令和7年度 | ダンス  | 合唱 | －       | プログラミング | 30名  |

### 3. 部活動に関するアンケートの概要について

#### (1)目的

部活動に対する意識調査を行うことで、豊島区部活動の現状把握を行い、国が進める「部活動の地域連携・地域展開」に対する取組みの方向性を検討する。

#### (2)対象者と回答数

| 対象者      | 対象人数<br>(令和7年10月1日現在) | 回答数    |
|----------|-----------------------|--------|
| 小学校5・6年生 | 3,104名                | 1,598名 |
| 中学校1・2年生 | 1,853名                | 989名   |
| 保護者      | －                     | 1,024名 |

※回答数は令和7年 11月10日正午時点での速報値

#### (3)回答方法

専用フォームを利用したインターネットによる回答。

#### (4)回答期間

令和7年10月20日(月)～11月10日(月)

### 4. アンケート結果抜粋

下記にアンケート結果のうち、目的や指導者、活動日数、地域クラブ化への見解を抜粋したものを記載している。数値は、11月10日正午時点での速報値となるため、最終集計結果等に関しては、別途送付する。

#### (1)部活動の目的について

・部活動に参加している(参加したい・参加させたい)目的はなんですか？

| 選択肢                    | 小学生 | 中学生 | 保護者 |
|------------------------|-----|-----|-----|
| 友達と楽しく活動するため           | 65% | 70% | 71% |
| 体力や技術を向上させるため          | 46% | 46% | 57% |
| 選んだスポーツや文化活動に取り組みたいため  | 44% | 36% | 56% |
| 部活動を通して自信をつけたいため       | 27% | 23% | 35% |
| クラスメート以外の仲間が欲しいため      | 24% | 17% | 49% |
| 大会やコンクールでよい成績を収めるため    | 23% | 24% | 9%  |
| 部活動以外でスポーツや文化活動を行えないため | 8%  | 8%  | 10% |

(2)部活動の指導者について

・部活動をどんな人に教わりたい(教わってほしい)ですか？

| 選択肢                      | 小学生 | 中学生 | 保護者 |
|--------------------------|-----|-----|-----|
| 自分の通う中学校の先生              | 32% | 52% | 19% |
| 地域でスポーツや文化活動を教えている大人や大学生 | 13% | 10% | 16% |
| 専門的な技能や知識・資格を持った指導者      | 52% | 34% | 59% |

(3)部活動の活動日数について

・1週間のうち、部活動をどのくらいやりたい(実施してほしい)ですか？…小学生・保護者

・1週間のうち、どのくらい部活動の活動日がありますか？…中学生

| 選択肢         | 小学生 | 中学生 | 保護者 |
|-------------|-----|-----|-----|
| 平日のみ1～2日    | 23% | 28% | 23% |
| 平日のみ3～4日    | 43% | 23% | 36% |
| 平日1～2日と休日1日 | 10% | 9%  | 9%  |
| 平日3～4日と休日1日 | 21% | 36% | 29% |

※中学生に対する「部活動の活動日数についてどう思いますか」への回答は、下記の通り。

もっと増やしてほしい 25% ちょうどいい 65% もっと少なくしてほしい 8%

| 選択肢         | もっと増やしてほしい | ちょうどいい | もっと少なくしてほしい |
|-------------|------------|--------|-------------|
| 平日のみ1～2日    | 28%        | 32%    | 6%          |
| 平日のみ3～4日    | 27%        | 20%    | 28%         |
| 平日1～2日と休日1日 | 16%        | 6%     | 9%          |
| 平日3～4日と休日1日 | 29%        | 38%    | 44%         |

(4)地域クラブ化について

①小学生対象アンケート

・休日の部活動が、自分の通う中学校以外の場所で行われるようになって部活動に参加しますか？

| 選択肢                     | 小学生 |
|-------------------------|-----|
| やりたいスポーツや文化活動があれば参加する   | 66% |
| やりたいスポーツや文化活動があっても参加しない | 7%  |
| わからない                   | 26% |

・休日の部活動を教えてくれる人が、中学校の先生以外になっても部活動に参加しますか？

| 選択肢                     | 小学生 |
|-------------------------|-----|
| やりたいスポーツや文化活動があれば参加する   | 76% |
| やりたいスポーツや文化活動があっても参加しない | 4%  |
| わからない                   | 19% |

## ②中学生・保護者対象アンケート

・部活動が地域クラブという活動に変わったとしたら、参加したいと思いますか？

| 選択肢                               | 中学生 | 保護者 |
|-----------------------------------|-----|-----|
| やりたいスポーツや文化活動があれば参加する             | 30% | 51% |
| やりたいスポーツや文化活動が通っている中学校でやっていれば参加する | 18% | 28% |
| やりたいスポーツや文化活動があっても参加しない           | 23% | 2%  |
| わからない                             | 26% | 15% |

## (5)総括

小学生・保護者の回答は、部活動に外部人材を導入することや地域クラブ化に対する肯定的意見の割合が高くなっている。一方で、中学生の回答では、指導者に教員を希望する回答が最も高い割合となっている。また、地域クラブに関しても中学生は肯定的回答が最多となっているものの、小学生・保護者に比べると割合がやや低いという結果になっている。

以上のことから、現在部活動に参加している中学生は現状維持を望む傾向があると推測される。今後の部活動改革にあたっては、こうした生徒の意向を考慮し、大きな変化を伴う場合は猶予期間を設け、事前周知や説明を徹底していく必要がある。

## 5. 今後の取組みについて

国が目標とする令和13年度までの休日部活動の原則地域クラブ化を検討しつつ、地域人材を活用した外部人材の導入により教員の負担軽減を図る。

単独での部活動顧問が可能であり、教員の超過勤務時間削減につながる部活動指導員については、令和7年度11月11日現在3名を配置している(巣鴨北中学校・千川中学校・千登世橋中学校)。しかし、他区の状況と比較して、少ない人数であるため、第一に、部活動指導員増員に向けた予算確保と人材確保に向けて取組みを進めていく。

人材確保のためには、区内団体(スポーツ協会・チームとしま等)や大学等と連携し、地域の人材の中で競技の指導経験のある人材がいないかの整理を行うとともに、部活動外部指導者から部活動指導員等への育成の仕組みについても検討する。